



中学生

まちづくり作文

優秀作品の紹介

市内中学生から「地域やまちづくりについて
思うこと」をテーマに作文の募集を行いました。
応募作品の中から優秀作品として表彰された3
作品を紹介します。

※この取り組みは、「三次市まち・ゆめ基本条例」の啓発活動の一環として平成28年から
実施しているものです。

優秀作品3作品



2月13日(火)表彰式の様子

【中学一年生の部】

「住んでみたい」と思える町に

三次市立三良坂中学校 一年 伊藤 美優さん

皆さんが住んでみたいと思う町は
どんな町ですか。どんな町が思い浮
かびましたか。

私が住んでいる三良坂町は、自然
に囲まれていて空気がおいしく、沢
山の美味しいものもあり、最近では
人も増えてきて、より一層にぎやか
になってきています。

そして伝統的な祭りが沢山あり、
幅広い年齢層の方からも親しまれて
います。また三良坂町では平和を大
事にしていて、平和美術館や毎年八
月に平和のつどいがあり、三良坂小
学校と三良坂中学校では小中合同授
業でつながり平和学習なども行っ
ています。このように沢山平和につ
いて考えています。

三良坂町は自然が沢山あり、沢山
の動物もいて、にぎやかで、平和を
大切にしている優しい人が多いのが
良いところです。その一方で現在の
日本の問題でもある少子高齢化が進
み、新しい建物が増えてきている一
方で、以前人が住んでいた家が空き

家として増えているのも、三良坂町
の現状です。

私は、いつまでもにぎやかで明
るく活気に溢れていて、自然が豊か
な町にしたいです。私の理想を叶え
るためにはまず、今の三良坂町の良
いところは持続し発展させることが
大切だと思うので、伝統は、これか
ら引き継いでいき、自然を大切に
していくこと、また現在の三良坂町
の課題を解決するために、家族で楽
しめる施設を作ってみたり、お祭り
をもう少し増やしたりして、多くの
人にもっと来てもらいたいと思いま
す。そして、多くの人に三良坂町の
良さを知ってもらいたいです。

多くの人に知ってもらうには、まず
自分が三良坂町を知らなければなり
ません。だから、「グッドタウン三良
坂」での学習を通して三良坂町のこ
とを学びたいと思います。そして多
くの人の「住んでみたい」と思って
もらえる町にするために、自分にでき
ることは何かを考えていきたいです。

地域の交流と活性化について思うこと

三次市立三和中学校 二年 田村 舞央さん

私は、この一学期、市役所の職場体験に行きました。そこで地域について色々考える機会がありました。体験前の市役所のイメージは書類関係の仕事をするイメージでしたがもっと幅広い仕事があると分かりました。

その一つに、地域に関わる仕事として、保健師さん達が地域に向かい行う健康体操の指導がありました。そこでは高齢の方が元気で頑張っている姿を見ることができました。また、ある地域に保健師さんと訪問したときには、誕生月の方のお誕生日会を行っていました。景品も充実しており、高齢者の方々も、活発に参加していました。その後の体操でもお互いに楽しく会話をしながら会をしておられ、その場が明るい雰囲気でした。また、違う地域では皆が集まるようなイベントは開催されておらず地域交流がありませんでした。その地域の方は、もう少し交流の場を増やしてほしいと言っておられました。そこで私は初めて地域交流について

課題があると気付きました。そして、

地域住民が何を望んでいるか、どうすれば元気な町になるかと考えた所、前からある観光資源を生かしつつ新たな考えを取り入れたら良いと考えました。例えば三和町では、千本桜が有名です。ですが、年々桜の木が弱ってきていて管理が行き届いていない状態です。この課題を解決すべく「千本桜を守る会」を作り、春の桜が咲く頃にガイドの方が千本桜のコースを案内しながら、千本桜の現状についてお話をすればより理解が深まると思います。そこではボランティアを集め桜の手入れをすれば良いと思います。また、三和町をもっと楽しんでもらう為に史跡についてまとめた看板を新たに作れば千本桜を楽しんだ後には史跡めぐりができて地域の活性化につながると思います。

このように今の地域の活動を少し工夫するだけで町全体が活性化すると思います。そして、私もその活動に貢献していきたいです。

「三和」と私

三次市立三和中学校 三年 新井 真緒さん

私が住んでいる三和町はとても自然が豊かな町です。私が思う三和町の特に好きなところを一つ紹介します。

まず一つ目は一年を通して姿を変える桜並木です。「桜」と言われると、桃色の花をたくさん咲かせた桜の姿を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、私は一年という長い月日をかけて姿を変えていく桜を見るのが好きです。桜の花が咲いたとき、花が散って緑色になったとき、葉が散って木の枝だけになった時など変わっていく桜を家のリビングから眺めるだけで、心が落ち着きます。

二つ目はみんなが支え合って暮らしているところです。私は中学一年生の時、登校中に田んぼに落ちてしまったことがあります。家にも学校にも遠い場所だったので「どうしよう」と思い、その田んぼのすぐそばにあった家の人に助けを求めました。すると、そこに住んでいた女性が今まで車で送り届けてくださいました。また、私が落ちた田んぼの近くに住

んでいる女性は大きな音がしたからと心配してきてくださり、田んぼから自転車上げてくださったり、近所のおばちゃんに泥だらけになった荷物を運ぶのを手伝ってくださったりました。泥だらけになった人を自分の車に乗せたり、泥だらけになった荷物を触ったりするのは私だったら少し気が引けてしまいます。でもその三人の方達はそんなことを気にする素振りも見せずに私を助けてくださいました。自分の住んでいる地域の素晴らしさや温かさに改めて気付かされたし、自分も誰かのために行動できる大人になろうと思います。これからもっと少子高齢化や自然との付き合い方を考えなければならなくなると思います。そして、その世の中を変えたり、守ったりするのは私達若者です。一人一人が自分の住む三和町の良さに気付き、どうすればより良い三和町にできるのかを考え、行動することが大切だと私は思います。

問 地域振興課地域づくり係

TEL 082416216395

FAX 082416216235